

# 平成30年度の県の仕事

平成30年度は、国体・障スポをはじめとする、スポーツや文化など様々な分野で活躍する県民や、幕末明治に近代日本の礎を築いたふるさと福井の先人たちのように、県民一人ひとりが国内外に交流ネットワークを大きく広げ、自ら新たな挑戦（チャレンジ）を行うことにより、福井の新たな時代を切り開き、福井の魅力・幸福度を高めます。

## I 新たな50年へのスタート

### ●みんなで成功させよう!国体・障スポ

#### 県民みんなで盛り上げよう

国体・障スポの融合を図り、県民総参加で福井らしい大会とするため、両大会の開・閉会式への参加や競技の応援、デモンストレーションスポーツへの障害者の参加を促すなど、障害のある人もない人も楽しめるスポーツ交流の輪を広げていきます。そのほか、すべての市町で競技会が開かれることも国体・障スポの特徴。県全体で選手を応援・サポートする体制を整えます

#### 陸上競技場9.98スタジアムに

桐生祥秀選手が日本人初となる100m9秒台の大記録を樹立した聖地である県営陸上競技場の愛称を「9.98スタジアム」に決定。愛称にふさわしいデザインによる改修を実施します。9.98スタジアムでは国体・障スポの開・閉会式、陸上競技が行われます。

### ●幕末明治福井150年博を開催

元号が明治に改められてから150年となる今年、「幕末明治福井150年博」を開催します。県内各地で幕末明治の福井に関する特別展や企画展を次々実施。近代日本の礎を築いた先人の功績や生き方、福井の歴史や文化を伝えるとともに、交流促進と観光誘客の拡大を図ります。



国体・障スポ融合プロモーションビデオより

## II 交流ネットワークの拡充

### ●おもてなし力をアップ

北陸新幹線開業により、多くの観光客やビジネス客が福井を訪れます。敦賀開業までの5年間を集中期間として、駅周辺市街地や観光拠点周辺の飲食店、宿泊施設などの店舗改装・設備導入のほか、伝統工芸品の工房見学・体験施設の整備を支援。県産品を活用したおみやげ品の開発なども応援します。また、国体・障スポや冬のイベントとあわせて県庁舎にプロジェクトマッピングを上映。市街地の賑わいを演出します。

### ●アジアへさらに売り込む

著しい経済成長が見込まれるアジア諸国に対して福井の食文化を提案し、新たな販路開拓・輸出拡大を図るため、香港、台湾、シンガポールに加えタイでも売り込みを行います。さらに、東南アジアで売れる県産品を作るため、現地視察や消費者からの意見の聞き取りを行います。また、中国本土・東南アジアへのゲートウェイとなる香港に福井県のアンテナショップを設置。更なる販路拡大・インパウンドを促すほか、県内宿泊客数が年々増加している台湾には、県内と現地の旅行会社などを繋ぐ営業窓口を設置し、さらに誘客を拡大します。

### ●映画で恐竜をPR

恐竜をテーマにした世界的大ヒット映画の続編公開にあわせて、全国各地の映画館で恐竜博物館をPRするCMを放映。多くの人に恐竜博物館へ足を運んでもらうきっかけを作ります。



伝統工芸品の工房見学



東京でのPR

### Ⅲ チャレンジ人材の応援

#### ●企業の人材確保を支援

企業の人手不足に対応するため、「人材確保支援センター」を設置します。多様な人材が活躍できる職場づくりなど、企業の課題に応じた人材確保策を提案するほか、県内企業と県外大学のつながりを強化する役割を担います。

#### ●「いちほまれ」の本格生産・販売

コシヒカリを生んだ福井県が、技術の粋を集めて開発したお米「いちほまれ」。日本穀物検定協会が行う米の食味ランキングでは最高評価の「特A」を獲得し、いよいよ今年本格生産・販売を迎えます。昨年試験販売を行った首都圏に加え、関西・中京エリアにも販売を拡大。また、テレビ、新聞、雑誌などメディアを活用したPR活動をさらに強化し、日本を代表するトップブランドを目指します。



いちほまれコンシェルジュによる販売宣伝

#### ●新分野への挑戦

航空産業分野においては、県が特許を持つ炭素繊維技術を活用し、大学や企業と共同で、航空機械体向け材料の共同研究を行います。また、自動車の自動走行実用化を早期に実現させるため、国の実験地域に選定された「永平寺参る一ど」において完全無人走行における歩行者への安全対策、交差点の通行量や道路状況などに応じた交通処理の検証を実施。新たな交通システムの構築を目指します。

#### ●子どもの探求心を育てる

児童科学館（エンゼルランドふくい）の大型モニター「ジオ・エンゼル」に投影される映像に、宇宙から見た地球をリアルタイムに写しだすものと、約6億年前からの大陸移動の様子を映し出すもの2点を追加します。また、恐竜博物館や年縞博物館とも連携し、子どもの科学学習に活用します。恐竜博物館では、恐竜の分類や進化をわかりやすく伝える恐竜系統図を作成するほか、企業と共働して子ども向けの恐竜セミナーを開催。恐竜を学ぶ楽しさを伝えます。



大型モニター「ジオ・エンゼル」

### Ⅳ 福井ふるさと元気宣言の実現

#### ●結婚の希望を叶える

「企業間交流婚シェルジュ」を新たに配置し県内の若手職員の交流を進めるほか、結婚相談の専門知識を学べる「ふくい縁結び学校」の内容を充実させ、「地域の縁結びさん」や結婚相談員のサポート力を向上。また、託児付きの婚活イベントなど、再婚を希望する方を含め誰もが参加しやすい出会いの場を提供し、結婚の希望を叶えるためのサポート体制を整えます。



結婚相談

#### ●安心な出産のために

不妊治療においては、出来るだけ早い時期に検査を受け、適切な治療を開始することが重要です。これまで行ってきた、体外受精などの専門的な不妊治療に対する支援に加え、不妊検査や、一般不妊治療に要する費用も支援します。

#### ●県都をにぎやかに

県と市で策定した「県都デザイン戦略」に基づき、福井城址を核としたまちづくりを行っています。昨年3月には築城当時からあったと言われる「福の井」を再整備。また、今年3月には福井藩主が本丸へ向かう際に通ったとされる「山里口御門」の復元整備が完成。今後は、「福の井」や「山里口御門」を活用したイベントを開催するほか、かつての天守閣や櫓などのCG画像等を提供するアプリの開発を進めます。